

貸借対照表

2023年5月31日 現在

株式会社メディカルフロント

(単位:千円)

| 資 産 の 部 | | 負 債 の 部 | |
|--------------------|-----------------|------------------------|------------------|
| 科 目 | 金 額 | 科 目 | 金 額 |
| 【 流 動 資 産 】 | 【82,159】 | 【 流 動 負 債 】 | 【96,894】 |
| 現 金 ・ 預 金 | 62,618 | 買 掛 金 | 5,388 |
| 売 掛 金 | 9,283 | 短 期 借 入 金 | 5,231 |
| 前 渡 金 | 3,972 | 未 払 金 | 23,243 |
| 仮 払 金 | 2,466 | 未 払 法 人 税 等 | 180 |
| 前 払 費 用 | 3,765 | 未 払 消 費 税 等 | 1,745 |
| 未 収 入 金 | 55 | 前 受 金 | 60,184 |
| 【 固 定 資 産 】 | 【4,664】 | 預 り 金 | 349 |
| (有 形 固 定 資 産) | (1,206) | 仮 受 金 | 574 |
| 建 物 附 属 設 備 | 1,206 | 【 固 定 負 債 】 | 【86,668】 |
| (投 資 そ の 他 の 資 産) | (3,458) | 長 期 借 入 金 | 78,257 |
| 出 資 金 | 10 | 退 職 給 付 引 当 金 | 8,411 |
| 破 産 債 権 等 | 38,744 | 負 債 合 計 | 183,562 |
| 差 入 保 証 金 | 3,242 | | |
| 長 期 前 払 費 用 | 206 | | |
| 貸 倒 引 当 金 | △38,744 | 純 資 産 の 部 | |
| | | 【 株 主 資 本 】 | 【△96,739】 |
| | | 資 本 金 | 38,549 |
| | | (利 益 余 剰 金) | (△135,288) |
| | | そ の 他 利 益 剰 余 金 | △135,288 |
| | | 繰 越 利 益 剰 余 金 | △135,288 |
| | | 純 資 産 合 計 | △96,739 |
| 資 産 合 計 | 86,823 | 負 債 ・ 純 資 産 合 計 | 86,823 |

I 重要な会計方針に係る事項

引当金の計上基準

- (1) 貸倒引当金 破産更生債権等については個別に回収不能額を検討し、回収不能見込額を計上しております。
- (2) 退職給付引当金 従業員の退職給付に備えるため、決算日において、従業員全員が自己都合によって退職した場合に必要な退職金の総額を見積り、計上しております。

収益及び費用の計上基準

当社は「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第 29 号令和 2 年 3 月 31 日）を適用しており、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識しております。なお、ソフトウェア開発に関しては、合理的な進捗度の見積りが出来ないため、進捗分に係る費用を回収できるものについては、原価回収基準に基づいて収益を認識しております。また、当事業年度の計算書類に与える影響ありません。

固定資産の減価償却の方法

- (1) 有形固定資産 定率法を採用しています。
ただし、平成 10 年 4 月 1 日以降に取得した建物（建物附属設備を除く）並びに平成 28 年 4 月 1 日以降に取得した建物附属設備及び構築物については定額法を採用しています。

II 当期純利益金額 当期純利益 7,723,697 円